



リン酸の吸収を高める微生物
『Mリンカリン』で発酵してリン酸の吸収効率を大幅にアップしたリン酸カリウム肥料が『MリンPKシリーズ』である。

◆リン酸の役割

リン酸は作物体内で光合成や呼吸作用、糖代謝などを助ける他、植物体内エネルギーの伝達に関連する等、生体内で重要な働きを担っている。

リン酸は植物の生長、分げつ、根の伸長、開花、結実を促進させる働きを持っており、効かせるときに効かせられるかが、収量や品質の大きな差となる。

MリンPKマグ



○特徴・効果

濃縮タイプであるスーパーMリンPKにマグネシウムを加えた肥料である。苦土欠乏を起こしやすい野菜や果樹への利用が最適。1袋15kg入りだが、20kgタイプと同等の肥効である。マグネシウムは光合成の光を集める葉緑素の元となる栄養分であり、光合成を促進する効果がある。また、リン酸の吸収、体内移動にマグネシウムが関与していることもあり、リン酸と相乗的な効果が期待できる。

保証成分量 (%)		
りん酸全量	内可溶性りん酸	内水溶性りん酸
20.0	19.9	17.0
加里全量	内水溶性加里	水溶性苦土
8.0	8.0	8.0

MリンPK



○特徴・効果

Mリンカリンでの自家配合や作業場所などの確保が難しい場合、既に発酵処理を施した完成品である「MリンPK」粒状・粉状の2タイプがある。スーパーMリンPK

○特徴・効果

MリンPKの濃縮版。1袋12.5kg入りだがMリンPK20kgとほぼ



保証成分量 (%)		
りん酸全量	内可溶性りん酸	内水溶性りん酸
24.0	24.0	20.0
加里全量	内水溶性加里	
9.0	9.0	

保証成分量 (%)		
りん酸全量	内可溶性りん酸	内水溶性りん酸
15.0	14.9	12.5
加里全量	内水溶性加里	
4.0	4.0	

ほぼ同等の肥効がある。軽量で散布しやすい。

◆MリンPKシリーズの効果

①品質向上

糖度上昇・着色促進・鮮度保持

持向上・硝酸態窒素の減少

②光合成促進

低温や日照不足時のデンプン

合成やタンパク合成促進・果実

肥大・収量増加

③結実促進

花芽分化・着果（開花）・着

果（結実）などの促進

④窒素過多対策

軟弱生育改善・徒長防止・耐

病性強化・倒伏防止

⑤発根促進

根張り効果・毛細根が多くな

り健全な生育

<MリンPKの基本施肥量> (10a 当たり)

	水稻	果菜類	葉菜類	根菜類	果樹類
元肥	20～30kg (1～1.5袋)	20～40kg (1～2袋)	20～30kg (1～1.5袋)	20～40kg (1～2袋)	30～60kg (1.5～3袋)
追肥	20～30kg (調節肥・穂肥1～2回)	20～30kg (7～10日おき)	20～30kg (多雨時)	20～30kg (土寄せ時)	30～40kg (開花・花芽分化・多雨時)
収穫前		20～30kg		20～30kg	20～40kg

※表はMリンPK 20kg タイプをキロ単位で表しているが、スーパーMリンPKやMリンPKマグを使用する場合、袋単位で施肥して下さい。

※施肥量を増量する条件

- ①窒素過剰で軟弱徒長時、稲作では倒伏の危険がある場合
- ②多雨や日照不足が続く場合
- ③夏期など高温時の場合

MリンPK液肥の素



NET 2kg

○特徴

水に溶けやすく残留物が殆ど残らない液肥専用リン酸・カリ・マグネシウム肥料。代謝を促進する効果があり、日照不足や多雨時の消化促進効果が期待できる。

○効果

- ◆糖度・着色上昇
- ◆花芽分化・着果促進
- ◆窒素過多や軟弱徒長の解消
- ◆低温時の代謝不良や日照不足の対策

保証成分量(%)

アンモニア性窒素		
4.0		
水溶性りん酸	水溶性加里	水溶性苦土
30.0	6.0	5.0